

# H29 年度 教科構想シート

## 保健体育科における主体的な学びとなる子どもの姿（1 学年⇒3 学年）

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業スタイルの確立（規律の徹底）</li> <li>②他者と関わり合いながら協力してできる。</li> <li>③上手にできるコツを見つけることができる。</li> <li>④専門的な用語の意味が理解できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①規律を徹底し、自分たちで声かけができる。</li> <li>②ペアやグループの教え合い学習を通して課題を見つけ、解決に向けた教え合いが主体的にできる。</li> <li>③上手にできるコツを見つけ、自分の言葉で表現することができる。</li> <li>④専門的な用語を理解し、教え合いの中で用いることができる。</li> </ul> |
|---|--|

## 教科における主体的な学びのための教師の捉える場面（●）とその手立て（○）

課題発見・解決学習	【課題の設定】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各単元の導入，毎時間の導入の場面</li> <li>●技能をどのように身に付けるか，ポイントを考える場面</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○付けたい力を明確にしたためて，個の段階に応じた目標値を設定する。</li> <li>○課題に対して具体的に考えているところを評価する。</li> </ul>
	【情報の収集】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●達成率30%未満の生徒への手立てが必要な場面</li> <li>●視覚的に技能を捉えさせる場面</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教え合いの時間を毎時間設定し，上手にできるコツを見つける。</li> <li>○映像・見本など視覚的教材から学ぶ。</li> </ul>
	【整理・分析】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●どのようにすれば上手にできるか，分析する場面</li> <li>●学習した用語を使って，やり方や上手にできる方法を説明する場面。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの技能を見てアドバイスができるよう専門的な用語の定着を図る。</li> <li>○学習カードを用いて，場面に分けて評価する。</li> </ul>
	【まとめ・創造・表現】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●整理・分析した情報をもとに，アドバイスをする場面</li> <li>●授業のふり返りをする場面</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペア学習やグループ学習を通して，互いにアドバイスをしやすい場を設定する。</li> <li>○本時のめあてに対する良かった所，次に向けての課題を発表し全員で共有する。</li> </ul>	
【実行】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●単元の終末で設定した課題に取り組む場面</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習したことを用いて自分の発揮できる最大の力を出せる場の設定を行う。支援が必要な生徒には段階を追った場の設定を行う。</li> </ul>	
【振り返り】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●単元の終末時，課題に対してふり返る場面</li> <li>●仲間の意見を聞いて自分をふり返る場面</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元全体をふり返り，達成したことや良かったことを共有し次の単元につなげる。</li> <li>○学習カード等に文章でまとめさせる。</li> </ul>	
【協同学習】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎時間のペア学習，グループ学習</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見るポイントを設定し，その項目について教え合い学習をさせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教え合い学習をするためのコツを事前に整理させておく。</li> <li>・コツのキーワードなど，教え合いの手がかりになるものを準備する。</li> <li>・単元ごとにリーダーを配置し，主体的な活動を意識させる。</li> </ul> </li> </ul>	

各教科における設定した資質・能力を育成するための手立て			頻度 ◎○△
資質・能力	資質・能力の定義	教科で育成するための手立て	
知識・技能	①学習したことを自ら語る力 (知の構造化)	・毎時間めあてに対して、良かったことと課題に分けて発表させる。 ・学習カードにふり返りを記入させる。	◎
思考力・ 判断力・ 表現力	①根拠をもとに、正しい判断をする力 (論理的思考力)	・プロや全国レベルの技能を映像で見せ、上手に行うためのコツを見つけさせる。	△
	②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 (批判的思考力)	・ペアやグループで意見交流をさせ、相手の意見を認め、違う視点から新たな課題を見つけさせる。 ・映像や上手な人と比べ、何が違うかを考え発表させる。	○
	③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力 (言語力)	・くり返し練習できる時間を設定する。 ・観るポイント(運動の局面)を設定し、具体的に説明させる。	◎
主体的に 学ぶ力	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	・自分で課題を発見し、解決方法を既習事項を用いて見つけ、互いにアドバイスをしながら実行させる。	◎
他者と かかわる力	①他者と協力(協働)し、課題を解決しようとする力	・ペア学習やグループ学習を毎時間取り入れ、他者と協力しながら課題を解決していく場の設定をする。	◎
	②他者とのかかわりを通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとする力	・自分の考えを相手に伝え、仲間の意見を取り入れながら本時のふり返りとして発表させる。	○
社会貢献力	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	・地域の現状と課題を知り、自分ができるところを考え発表させる。	△
自己形成力	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	・声かけシステムを工夫し、失敗しても大丈夫、と自信を持って取り組むことができる雰囲気づくりを行う。	◎
	②自信を持つ力	・スモールステップで段階を追った指導を行う。 ・個のレベルに応じた課題を設定し、クリアしていくことで達成感を味わわせる。	◎